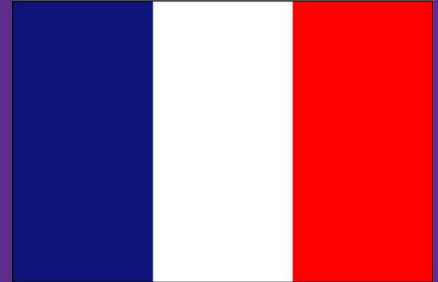


ヨーロッパ・フランス



留学体験談

先輩が語る！

所属：人文・文化学群比較文化学類

留学した時期・学年：2014年9月～2015年6月 3年次

留学した大学：フランシュ・コンテ大学

留学先での専攻・所属：人文学部

奨学金の有無・奨学金の名前：有り・JASSOの奨学金

【留学について】

Q1. 留学の目的、動機などを教えてください。

高校生の頃から海外留学に憧れていて、自分の視野を広げるため、また育った環境や価値観の違うたくさんの人との出会いを求めて留学しました。旅行者としてではなく、その国に長期で住んでみて初めて分かることがあると思い、バックパッカーやインターンではなく、より長く一つの場所に留まれる留学という手段を選びました。

Q2. 留学先にその大学（国）を選んだ理由を教えてください。

元々ヨーロッパに行きたくて、特にイギリスに行けたらいいなと思っていたのですが、イギリスの大学はIELTSのレベルが高すぎて、私の実力では無理だったので、第2外国語でやっていたフランス語で留学しよう決めました。今では、フランスに留学してよかったと思っています。

【大学について】

Q1. 留学した大学の校風を教えてください。

あくまでも私の学部はということですが、留学生とフランス人学生のコミュニティがはっきりと分かれているように感じました。これは学部によって差があるようです。ただ大学全体で言えば、留学生向けにイベントを企画しているESNという団体があり留学生に対していろいろとフォローしてくれました。

Q2. 留学した大学での学生の様子を教えてください。

個人差はありますが、みな勉強で忙しそうでした。特にテスト前になると図書館や外のベンチが勉強している学生であふれかえります。

Q3. 留学した大学での留学サポートについて教えてください。もし利用していたら、その様子も教えてください。

チューター制度のような制度がありましたが、チューターのあたりはずれが大きかったです。自分のチューターにメールをしても返信がないという友達にもいました。私はチューターとはメールのやり取りはしていましたが、あちらが忙しすぎて一度しか会えませんでした。

Q4. 留学先で入っていたサークルなどがあれば教えてください。また、どのような活動をしていましたか。

大学のサークルには入っていませんでした。

【学習について】

Q1. 留学先ではどのような授業を取っていましたか。授業数も覚えていたら教えてください。

私の専門である文化人類学の授業を2つ、それに加えて英語とフランス語の授業も取っていました。全部合わせて週に12時間でした。

Q2. 留学先で一番印象に残っている授業はどの授業ですか。簡単に内容も紹介してください。

経済人類学の授業で、社会紐帯経済について勉強したのが特に印象に残っています。単なる金銭のやり取りだけでなく、社会をつなぐ作用のある経済についての講義で、共済組織やフリーマーケットなどについて取り上げました。

Q3. 筑波大学での授業の様子と比較して、留学先での授業はどうでしたか。気づいた点があれば何でもよいので教えてください。

それほど変わりはありませんでした。たいていの学生はまじめに授業を受けてノートを取っていましたが、中には内職をしたりおしゃべりをしたりして先生に怒られている学生もいました。ただ、寝ている人はほとんどなかったです。海外ということで、積極的にディスカッションに参加する人が多いのかと思っていましたが、私の受けた授業では特にそういうことはなかったです。

Q4. 留学先での学習において、もっとも必要だったと思うアカデミックスキルは何ですか。（ライティング、スピーキング、リスニング、リーディング、リサーチスキル、クリティカルシンキング、コミュニケーション能力など）

リスニングです。私の先生はほとんど板書をせずにひたすら話すタイプだったので、内容が難しくなるともうお手上げでした。特にフランス語は、リエゾンするので余計に聞き取るのが難しかったです。

Q5. 上記に回答した内容で、留学に行く前にできるだけ身につけておけば良かったと思うスキルはありますか。

行く前に単語力をもう少し身につけておけばよかったと後悔しました。



Q6. 留学に構えて、どのような準備学習を日本で行いましたか。また、おすすめの学習法があれば教えてください。

【語学について】

基本的には仏検の対策が主な準備学習でした。フランス語は発音が特徴的なので、慣れるためにシャドーイングや聞いた文章を実際に書き起こしてみる練習がおすすめです。

【語学以外について】

語学以外の学習は特にしませんでした。私は幸運にも筑波大学で受けていた授業内容がフランスでの授業内容とかぶる部分が多かったため、とても参考になりました。事前にその知識を日本語で知っているかないかでは、フランス語で学んだ時の理解度が全く違います。

Q7. 留学先での指導員、もしくは授業の担当教員とのコミュニケーションはどうでしたか。なにか気づいた点があれば教えてください。

先生にはよくいただきました。あちらも留学生には配慮してくれるので、困ったことやわからないことは積極的に聞いていくのがいいと思います。よく授業終わりに、問題なく理解できているかと聞かれました。

【ライティングについて】

Q1. 留学前に、どのようなライティングの学習をしましたか。


特に第二外国語の授業以上のことはやっていませんでした。


Q2. 筑波大学でのレポート（日本語、外国語）と比較して、留学先でのレポートはどうでしたか。

留学先の大学は全て試験だったのでレポートを書く機会はありませんでした。

Q3. 学先のレポートで困ったことがあった時、どのように解決しましたか。

上記の理由により、困ったことはありませんでした。





Q4. 留学先にライティングセンター（もしくは類似する学習支援機関）はありましたか。
学習機会ではありませんが、留学生に対するアドバイザーのような人がいて、希望すれば面談してアドバイスしてもらうことが出来たようです。ただ、私は利用しなかったなので、詳しくは分かりません。

Q5. 上記の期間を利用していたら、その様子を教えてください。
大学の寮に住んでいました。家具（ベッド、収納、冷蔵庫）、シャワー、トイレ付けでキッチンは共同でした。

【生活について】


Q1. どのような部屋に住んでいましたか。（寮、アパート、ルームシェア、ホームステイ等）
大学の寮に住んでいました。家具（ベッド、収納、冷蔵庫）、シャワー、トイレ付けでキッチンは共同でした。

Q2. その部屋はどのようにして探しましたか。
筑波での留学担当の方から教えてもらいました。申し込めば誰でも住めるようです。

Q3. 部屋を決めるときの注意やアドバイスなどがあればお願いします。
自分の希望と、譲れない部分と、金銭を考えながら慎重に選んだほうがいいと思います。

Q4. お金の管理はどのようにしていましたか。奨学金や親からの仕送りなど、どのように受け取っていましたか。（現地銀行口座の開設、日本の銀行口座から送金、国際銀行の口座開設、クレジットカードでのATM利用など）

私は基本的に日本のクレジットカードを利用し、奨学金もそこに入れてもらっていました。ただ現金が必要になる場合も少なからずあるので、フランスの銀行口座も開設し、そこに国際送金してもらったお金を現金で引き出して使っていました。



Q5. 留学先でアルバイトはしていますか。もしアルバイトをしていたら、その様子を教えてください。

していませんでした。

Q6. 留学先での人間関係を築くにあたって、大切だと思うことがあれば教えてください。また、日本での人間関係との差異もあればお願いします。

自分から積極的に話しかけていくことが大切だと実感しました。特に日本との差異は感じませんでした。日本での常識や暗黙の理解が通用しないことはしばしばありました。

Q7. 大学以外でもコミュニティに参加しましたか。もし参加していればその様子を教えてください。

特に大学と語学学校以外のコミュニティには参加していません。

Q8. その他、日常生活や人間関係について気づいた点があればお願いします。

日本とフランスで人との接し方や距離の取り方、それぞれの常識が違うというようなことは感じましたが、それ以上に人同士のコミュニケーションであることは変わりありませんでした。国が変わっても、相手を思いやるとか、笑顔で接するとか大切なところは何も変わらないと思います。

【治安について】

Q1. 留学した大学、留学先の街の治安はどうでしたか。

とてもよかったです。ただ、変な噂もちらほらあったので油断はしない方がいいと思います。

Q2.安全に暮らすための注意やアドバイスがあればお願いします。（危険な地域、しないほうがいい行動など）

汚い路地裏には極力行かないこと、夜遅くに一人で出歩かないこと、貴重品は常に肌身離さないこと、怪しい人がいたら目を合わせずにすばやく遠ざかることなど、基本的なことを守っていれば大丈夫だと思います。

【経済面について】

Q1. 留学全体でどれくらいかかりましたか。

自分から積極的に話しかけていくことが大切だと実感しました。特に日本との差異は感じませんでした。日本での常識や暗黙の理解が通用しないことはしばしばありました。

Q2. 留学先での滞在費はどのようにまかなっていましたか。（奨学金、仕送り、現地でのアルバイト、留学前のアルバイトで貯金など）

出来る限り奨学金と留学前のアルバイトでの貯金で賄っていました。それでも賄いきれない部分は親から仕送りをしてもらいました。

Q3. 1ヶ月の支出について伺います。

項目	現地通貨	日本円
食費	約100€	14000円 (1€/140¥換算)
家賃・寮費	245€ (内90€補助あり)	34300円
光熱費	寮なのでなし	
交通費 (通学)	バス定期 28€	3920円
交際費	約50€	7000円
旅行費	約100€	14000円
その他	約50€	7000円
合計	約570€	約8万円

【留学を目指す人へのメッセージ】

留学先では大変なことや、自分の力不足で泣きたくなることがたくさんあります。でもそれ以上に、バックグラウンドの違う多くの人に出会えたこと、優しくしてもらったこと、助けてもらったこと、いろいろな話をしたこと、一緒に過ごしたこと等々、一生の思い出になるような経験をたくさんしました。困ったらたいてい誰かしら手を差し伸べてくれます。だから、必要以上に恐れずに前向きにトライしてみてください。